

# 大河ドラマと黎明館資料

明治維新一五〇周年・大河ドラマ「西郷どん」放送記念

黎明館企画展



大河ドラマ「翔ぶが如く」(平成2(1990)年放送)の撮影のために、鹿児島(鶴丸)城跡に設置された御楼門(部分)のセット(写真展示)



キヨソネ筆 西郷隆盛像(写真展示)  
(「西郷どん」「翔ぶが如く」など)



天璋院像(制作：中村普也氏)  
(「篤姫」放送後建立)

平成30年

Ⅰ 1/16(火)～4/22(日) Ⅱ 4/26(木)～8/26(日)

■会場 / 鹿児島県歴史資料センター黎明館3階 企画展示室

■開館時間 / 9:00～18:00 (入館は17:30まで)

■休館日 / 毎週月曜日(祝日の時は翌日)、毎月25日(土・日は開館)

■入館料 / 常設展示と共通 一般310円(230円) 高校・大学生190円(120円) 小・中学生120円(60円)

※( )は20名以上の団体及び「西郷どん 大河ドラマ館」との連携による入場料金等の相互割引の対象者の料金

※身体障害者手帳、療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳の提示のあった方と、その介護者1名は免除

※県内の小・中学校、高等学校、特別支援学校の児童生徒と、その引率者については、教育課程等に基づく活動として入館する場合は、事前申請によって免除

※鹿児島県内に居住する70歳以上の方は無料(年齢・住所が確認できる書類の提示が必要)



## 開催に当たって

平成30(2018)年は、ちょうど明治維新150周年に当たり、維新の舞台として、本県は様々な方面から注目を集めています。また、鹿児島を主要舞台にした大河ドラマ「西郷どん」放送の年でもあります。

当館は、約18万点を超える鹿児島ゆかりの歴史、民俗、考古、美術・工芸各分野の貴重な資料を収蔵しており、これらの資料を幅広く紹介する収蔵品展を、これまでも不定期に開催してまいりました。今回は、大河ドラマ「西郷どん」の放送に合わせて、大河ドラマを切り口とした、収蔵品展を開催いたします。本企画展が、鹿児島の歴史・文化の魅力を広く発信する機会となりましたら幸いです。

## 鹿児島を主要舞台とした大河ドラマに関連する資料

「西郷どん」以外にも、鹿児島を主要舞台にした大河ドラマには、記憶に新しい「篤姫」(平成20(2008)年放送、以下放送年のみ記載)や「翔ぶが如く」(平成2(1990)年)、「山河燃ゆ」(昭和59(1984)年)や「獅子の時代」(昭和55(1980)年)などがあります。

また、「琉球の風」(平成5(1993)年前半)や「八重の桜」(平成25(2013)年)など、沖縄県(琉球王国)や福島県(会津藩)を主要舞台とするものの、鹿児島(薩摩藩)と深い関係がある作品についても、関連資料を紹介いたします。

一方、今後鹿児島を舞台とした大河ドラマの主人公として期待される島津義弘についても、関連資料と共に紹介いたします。



大久保利通所用の碁盤・碁石(重要文化財)  
(「西郷どん」「翔ぶが如く」など)



虎狩絵巻(部分)  
(島津義弘が命じた虎狩のようす)

## 上記以外の大河ドラマに関連する資料

黎明館には、鹿児島以外の地域を舞台とした大河ドラマで取り扱われた偉人たちに関連する貴重な資料も、多数収蔵されています。この機会に、それらの資料も積極的に展示を行います。本企画展でぜひ御覧ください。



足利尊氏感状  
(「太平記」)



伊達政宗書状(Ⅱで展示予定)(個人蔵)  
(「独眼竜政宗」など)

## 【企画展関連行事】解説講座(学芸講座を兼ねる。)

「大河ドラマと黎明館資料」：学芸課長 内倉昭文  
2月25日(日) 13:30~15:00 / 2階 講堂 (講座は無料・事前申込み不要)  
※講座終了後、企画展の展示解説を行います(団体入館料が必要)。

30年度の展示解説講座は、後日HP等に掲載予定 ※会期中、適宜資料の展示替えを行います。

